やる気 元気 笛吹 本気
Peach Blossoms

Contents

- 校長からのメッセージ
- １学年主任からのメッセージ
- 笛吹高校に入学して
- トピックス　高校総体・全国大会
- 高校生議会に参加して
- 特集　ポストコロナヲヨゲンスル
- 連載　「切磋琢磨」10

笛吹高校通信
2021.9 Vol.9

地元と繋がっている方募集中

校長　井上孝悦

笛吹高校は、前身校に石和高校、山梨園芸高校、山梨養蚕学校などを持ち、その起源までさかのぼると、明治28年開学の山梨養蚕教習所にたどり着き、開学126年目となる学校です。この長い歴史の中で、学校の名称や学科編成は度々変化してきましたが、一貫して変わらないものがあります。それは、本校が育てたい人材の理念です。笛吹高校の校訓は「責任と信頼」です。この校訓には「今、あなたがいるその場所で、あなたがなすべきことを行い、廻りの人々との強い絆を作って欲しい」という願いが込められています。また、前身校の一つ石和高校の校訓は「和」でした。ここには「世界平和を望み、調和の取れた石和の地を築く」との願いが込められていました。さらに、もう一つの前身校である山梨園芸高校の校訓は「道を拓く人となれ」でした。ここには、新しい道を切り開き、地元の農業を発展させてほしいとの願いが込められています。本校は長い歴史の中で、一貫して地元の産業を支え地元に貢献できる人材を育てることを、教育の理念としてきました。この方向は今後も変わりません。それは、実学を主とする、食品化学科、果樹園芸科、総合学科はもちろんのこと、上級学校への進学を目指す普通科であっても同じであり、この理念に基づいて教育を行っています。しかし、食品化学科、果樹園芸科、総合学科への進学を考えている中学生と違って、普通科進学を目指している生徒さんの中には「なぜ笛吹高校の普通科なの?」と迷っていらっしゃる方がいるかも知れません。もし、あなたがそのような中学生であるなら自分に問いかけて見てください。「私は地元に繋がっていたいのだろうか?」と。普通科高校はたくさんあります。その中には国際的な場で活躍する人材を育てようと目指している学校もあります。大学卒業後は、日本全国はもちろん世界を飛び回って仕事をしたい、と考えている生徒さんはそのような高校を選ぶべきだと思います。ですが、大学に進学し機械工学や教育学など何を学んだとしても、その後は、地元山梨に戻って地元で活躍したいと考えていらっしゃるのだとしたら、是非、笛吹高校を選んでください。笛吹高校はそんな生徒を応援します。地元と繋がっている方、大募集中です。

笛吹高校に入学して

何事にも主体的にチャレンジ

普通科　1年1組　塩島 桜音 (御坂中出身)

普通科の良いところは、学習のサポートが充実しているところです。定期考査や模擬試験の対策、土曜講座などがあります。今年度からは自習室が設けられ、勉強に真摯に向き合える環境がさらに整いました。また、私はすいれき太鼓部に所属しており、関東大会の出場が決まっています。部活動に専念できるのも、このような学習サポートが充実しているからです。これからも文武両道はもちろん、資格取得など様々なことに挑戦し、最高の高校生活を送っていきたいです。

切磋琢磨

食品化学科　1年4組　坂本 太一 (石和中出身)

私が笛吹高校に入学して一番中学との差を感じたのは学習面です。私の所属する食品化学科では専門の教科も学ぶため、中学校の頃よりも勉強量が多くなりました。しかし、私には夢があり、それを叶えるための勉強ができるのでやりがいを感じています。また、所属するサッカー部の部活動では、個々を高め合い、毎日の練習で全員が成長しています。笛吹高校に入学してから、部活動と勉強に取り組み、毎日が充実しています。これからも妥協することなく頑張っていきたいです。

責任と信頼を目標に

果樹園芸科　1年5組　岩瀬　巧 (石和中出身)

私は将来農業に関する仕事に就きたいと思い、笛吹高校の果樹園芸科に入学しました。一学期が始まった当初は、クラスに馴染めるか不安で、まさか学級委員長になるとは思っていませんでした。しかしいざ私が委員長になると決まった時は、皆快く受け入れてくれて、今こうしてクラスの代表として文章を書いたり、重要な会議に参加したりすることができています。農業の知識や技術をしっかり身につけることを目標としつつ、これからも私を受け入れてくれた1年5組のために精一杯委員長としての責務を全うしたいと思います。

将来について真剣に考える

総合学科　1年8組　国本 彩花 (甲府東中出身)

私は高校に入学して約4か月がたった今、感じていることがあります。それは自分の将来としっかり向き合うことの大切さです。私は一学期に系列体験をしました。異なる分野の学習を体験し、自分の将来について真剣に考えるきっかけとなったと共に、将来の選択肢も広げることができました。系列での専門的な学習を通して、夢を実現できるよう頑張りたいです。また、部活動にも一生懸命取り組み、何事にも高い目標を持って日々前進していきたいです。

第12期入学生、それぞれの目標の下に

１学年主任　瀧田　武

今春、笛吹高校の第12回入学式が行われました。普通科、食品化学科、果樹園芸科、総合学科に計２４４名の生徒が入学しました。「責任と信頼」の校訓の下、中学校までの義務教育と異なり、入学生それぞれが、学びの意味を考えながら、各科の学習に取り組んでいます。学年目標は「広い視野を持ち、主体的にチャレンジする生徒を育てる」としました。高等学校においては、学習進度が速く、今まで以上に予習が必要となります。また、宿題や課題も多く、入学から夏休みまで、あっという間に感じた人も多かったことと思います。しかし、そこは笛吹高校。学年の横のつながりだけでなく、科ごと、また、部活ごとの縦のつながりの中で、先輩たちの姿から学び、少しずつ学校生活にも慣れてきました。基本的生活習慣の確立、学習時間の確保、平日、週末を含めた部活動への参加等、先生からの指示に忠実に従うだけでなく、生徒達には、校則をはじめとしたルールの中で、主体的に自分の時間を組み立てる習慣が身につき始めています。

青春時代、高校の３年間は、長いようであっという間です。そこでの経験や出会いは、その後の人生の糧となります。卒業後、また、進学後に皆さんを迎える社会生活に向けて、失敗を恐れずに、様々なことに挑戦し、何かに打ち込んだ３年間にしてほしいと思います。笛吹高校にはそれがあります。普通科、食品化学科、果樹園芸科、総合学科それぞれに特色ある学びの機会が設定されています。部活動においては、運動部、文化部共に、県内外で活躍し、素晴らしい成績を収めています。生徒同士、切磋琢磨し、様々な個性を受け入れ、他者を尊重し、自分と違う考え方を知り、物事を解決する際に必要な論理的思考と創造力を高めてほしいと思います。「他人を知るにはまず自分から」と言われます。「多様性の時代」と言われる現代。個人の価値観や考え方も十人十色です。豊かな自然、果樹栽培等、誇るものに満ちたこの笛吹の地で、自分と地元山梨について知り、他者と協働し、世界で、またこの山梨で、未来の社会の構成員として活躍する皆さんの入学を心よりお待ちしています。

トピックス!!　１年越しの高校総体 ライフル射撃部が男女とも団体優勝！

５月に行われた高校総合体育大会で本校は、ライフル射撃部が男女とも団体優勝、ソフトテニス部男子が準優勝、ソフトテニス部女子がベスト８、卓球部が男女とも６位、自転車部が団体２位、個人でも優勝、準優勝など好成績を残しました。

トピックス!!　全国大会出場

8月に広島で行われた全国大会にライフル射撃部、北信越で行われたインターハイにソフトテニス部男子（石川）、自転車部（福井）が参加し活躍してきました。また、愛知で行われた軽音楽コンテスト中部大会にフォークソング部が出場しました。

ライフル射撃部

自転車部

ソフトテニス部男子

フォークソング部

高校生議会に参加して

山梨県内の高校生が県議会で政策を提言する「高校生議会」が8月3日県議会議事堂で開かれ、笛吹高校を代表して生徒会副会長小林亮晴君が登壇しました。

コロナウイルスの感染拡大により、高校でも常時教室の換気が義務付けられており空調設備を利用するときも窓やドアの開放をしなければならないため、効率が下がり、例年以上の費用がかかっているので、根本的な解決のために太陽光パネルのさらなる設置を提言しました。これには二酸化炭素の排出削減や設備の設置による雇用の創出、災害時におけるエネルギーの供給など多くのメリットがあります。

高校生議会は若者の政治参加意識の向上を目的としたもので、開かれるのは今年で4回目です。この場で高校生が提言したことが、将来実現するかもしれません。生徒たちも参加する前に真剣に生徒同士で話し合いを重ね、今回の議会に政策提言をしてきました。

特集 芸術科合同制作と学外展示「ポストコロナヲヨゲンスル」

1年食品化学科・果樹園芸科・普通科

昨年度の食品化学科・果樹園芸科・普通科1年生（総勢165名）が、芸術Ⅰの授業にて合同で大型作品を制作し、今年の3月から約2ヶ月間、山梨県立博物館のエントランスロビーで展示をしました。芸術活動によって地域交流を盛んにするという目的に最寄りの県立博物館から理解を得られ、連携を取りながら発表するに至りました。コロナ禍を機に疫病退散のシンボルとして注目される「ヨゲンノトリ」が県立博物館に収蔵されていることから、それを題材として壁面立体作品を制作しました。制作と設置では、笛吹高校美術部の全面的な協力が得られました。

新型コロナウイルス感染症の大流行という大きな出来事を高校生の視点から捉え、コロナ禍が収束した後「ポストコロナ」の社会がどのようになっているか、それを生徒一人ひとりが予測しました。その未来予測（＝予言）をトリの羽に書き込み、現代版「ヨゲンノトリ」を出現させました。展示中には生徒たちによるアートトークを行い、来館されている方に向けて作品を説明し自分たちの予言を紹介しました。

作品を見た方からは、完成度の高さと迫力がすごいとたいへん好評を得ました。そして、生徒たちの予言に対しては、現実的な内容が目立ち、気付かされることが多くあったと感動の声が寄せられました。

連載 切磋琢磨10

美術部

私たち美術部は、毎週月曜日から金曜日の平日の放課後を中心に活動しています。

今年度は、「多くの交流を持ち、楽しく創作活動をしよう」という目標のもと、部員それぞれが個々の作品制作に真剣に取り組み、充実した活動を行っています。

美術部の主な活動内容は、芸術文化祭や高美連展、ＵＴＹ教育美術展などに出品するための作品の制作です。また、県立美術館に行き、優れた作品を鑑賞するなどの活動も行っています。

その他にも、地域や他の部活動との交流も積極的に行っています。美術科の授業で取り組み、博物館で展示をした「ポストコロナヲヨゲンスル」の制作と設置を美術部が中心となって行いました。また、5月からは石和温泉協会から依頼を受けて葛飾北斎の「富岳三十六景甲州伊沢暁」のアレンジ画の制作をしています。完成したら看板となって観光客の皆さんにも見ていただけるのでとても楽しみです。また、先日は茶道部との交流を行いました。コロナの関係でさまざまな行事が中止となっていますが、いつか美術部の作った作品と茶道部のお茶会のコラボを実現させたいと思っています。コロナ禍だからこそ繋がりを強め、交流を深める活動を広げていきたいです。

今年度は、個々の作品制作だけでなく、外部の依頼によって全員で作品を作り上げていく活動を多く行うことができました。今後も、部員同士協力し合って、楽しく活動していける部にしたいと思っています。

PB 笛吹高校通信 Vol.9

発行　山梨県立笛吹高等学校　〒406-0031　山梨県笛吹市石和町市部３番地　TEL 055-262-2135　FAX 055-262-6381
e-mail info@fuefukih.kai.ed.jp　ホームページ http://www.fuefukih.kai.ed.jp/
編集　笛吹高等学校　広報・情報教育係　発行日　令和３年９月10日

QRコードはこちらです▶